

令和 6 年10月7日

全体会の記録

日時 令和 6 年10月7日 午後2時より午後4時20分

場所 函館市町づくり交流センター

参加者 JA8EJZ JH8EEO JJ8UDA JH8NNW JL8JUK JG8QYH JK8XBR
JH8CBH

レジュメについては、公開すべきものとそうしない方がいいと思われるものがあるので、私の判断で載せていないのもあります。全ての資料をご覧になりたい方は請求ください。

1 匿名の発言について

一連のトラブルに対する対応ということも一つの目的にこの会を開催いたしましたが、匿名で発言された方はご出席いただけませんでした。とても残念です。ご意見をあげるのはいくらにかまいませんが、自分の身を隠しての表現は、いかななものかと思えます。

会議としても、不注意はあったものの、反省を次回に生かすということで、この話し合いは終わりました。

2 パネルディスカッションにおける事故の扱いについて

やってしまったことは仕方がないのですが、今思うと、どうしてあのような判断をしてしまったのか、悔やまれます。してしまったことは反省し、謝罪するしかありません。意図はわかっていただいたので、今後、綿密な打ち合わせなどをして、次の事業に生かして参ります。

3 あげますくださいの不公平について

ほしい人は参考程度にお名前を書くという決まりではありましたが、名前を書かないでも平等にじゃんけんに参加できたということのお叱りがありました。お気持ちを考えると確かにその通りですので、必要に応じて事前の出展を確認するなど、公平かつスムーズな方法を考えていきます。

4 抽選について

参加対象を JARL 会員ということとします。

5 支部大会の開催場所について

アンケートでは函館市近郊と郊外を交互にということもあり、過日の役員会では来年は鹿部という方向性がでたことを報告しました。しかしながら、郊外へ行くと、参加人数が減少することは目に見えていることでもあり、参加者確保が、今の時代では一番求められることから、今後も函館近郊を軸に検討することが確認されました。

6 支部大会の受付

QSLカードの展示の場所の確保、ビューローあてQSLの受付、コンテストログの提出などの箱の設置を求める意見があり、改善していきます。

7 コンテストについて

支部コンテストについては、基本的には継続していく。コンテストの楽しさを広げる広報活動に努めたい。

支部コンテストについては、シングルバンドとマルチバンドであったが、マルチバンド、HF の部、VUのバンドに統合していきたい。また、コンテスト時間が長すぎるので、24時間としたい。バンドで時間を区切るなどの意見もでたが、今後、皆さんからの意見も聞きながら、詳細を決めていく。

ログについては、従前通り、紙でも電子データでも受け付けること、賞状は、紙で出していくことを確認した。

8 支部の会計について

北海道地方本部の指導もあり、特別会計31621円の全てを一般会計に組み入れた。一般会計で支出しにくいような支出についても、支部長の明確な意図があれば、支出することが可能であることは、地方本部会計にも了解済みである。

9 ロールコールの回数について

ロールコールの回数を増やしたらどうかという意見があった。支部としては非常追伸ボランティアの定期通信などで、回数を増やし、意識化していきたい。

10 寄付について

支部大会の前、支部大会時に、支部に対して寄付があった。

11 非情通信研修について

海上保安庁、消防や警察の指令室など、業務無線の実際などについて学ぶのも研修になるという意見が出た。

12 情報発信について

何でもオープンにすることで、もめごとを自らつくっているようなところがあるので、一呼吸おいてから、情報発信をするようにする。